

令和8年7月23日

瀬戸内市議会議長

小野田 光 様

瀬戸内市議会議員 秦井 誠司

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和8年7月13日～14日
研修会名	全国地方議会サミット 2026
開催場所	みなとみらいリサーチセンター (会場参加ではなくオンライン参加とした)
研修目的・ 内容	目的；議会基本条例ができてから20年の節目を迎える今年、今一度議会改革の歩みと現在地点を検証し、注目が高いAI活用や市民参加の拡大などもテーマとして盛り込み、議会の将来性について考えることを目的とする。 内容；議会基本条例20年を振り返る基調講演では、新川・廣瀬・江藤の3氏が、条例の全国普及と「作りっぱなし」になりがちな検証不足を指摘。セッション1ではAIが議会質問作成や答弁予測を効率化する一方、議員自身の問題意識を反映させる重要性が語られた。セッション2では栗山町・三芳町・所沢市の議会改革実践例が紹介され、条例は制定後も運用・評価・改善を続けることが重要と共通認識された。本市議会への示唆として、AI活用の試行、条例運用のPDCA体制構築、動画配信等による住民との対話強化が挙げられている。
所 感	議会基本条例は制定して終わりではなく、運用・検証・改善を継続する仕組みが重要と再認識した。特にAI活用は議員の問題意識を反映させることが前提であり、本市でも質問作成支援等の試行検討を進めたいと考える。 以上

